

黒部 亨 作
西神戸の源平遺跡

八百年前源義経が源氏を引きつれて通った
鴨越は、今は舗装道路が敷かれ、団地の点在
するモダンなニュータウンへと変わりつつある。
なだらかな山なみと、山道の老松のみが過
ぎし昔の思影をとどめる。

〈写真・左 鴨越からみた山なみ 下・義経馬つなぎの松〉



寿永三年（一一八四）二月七日、卯ノ刻（午前六時）から己ノ刻（同十一時）にかけて、現在の神戸市中央部は、史上有名な源平合戦のクライマックスをむかえていた。とくに合戦のハイライトとなった義経の「鶴越逆落し」によって、西神北部一帯では凄惨な修羅場が展開された。

寿永二年七月、木曾義仲に追われて西海に奔っていた平家一門は、屋島で正月をむかえてから会稽の恥をそそがんとして東上、第二の故郷である福原（神戸）に布陣



蛙岩にて。右、金丸精哉さん、左筆者、鶴越の高尾地蔵

して源軍をむかえた。激戦は生田川から須磨一の谷にかけての東西約三里の間でおこなわれた。

取材班はその古戦場をさぐるため、五月末の暑い日、神戸電鉄の金丸精哉さんの道案内で、西神に散在するいくつかの遺跡をたずねてみた。

車はまず、義経の奇襲攻撃のコースといわれる鶴越本道を、夢野から高尾山（四〇〇三米）へ向かって登る。山頂の高尾山地蔵尊前で車を捨て、地形を俯瞰するため背後の高台に登る。まわりには腰まで雑草が茂り、ツツジ

の花が咲き、松の疎林がそびえ、はやセミが鳴いている。

すぐ目の下に、ふた抱えもある大枯松が二本、ひときわ高く天を指している。

「駒つなぎの松」と呼ばれ、義経が馬をつないで一服した所といわれている。そういうえばそばの古井戸からいまでも清水がわきでている。

「いろいろと説はありますが、義経の本隊がここを通過したのは確実ですね。このあたりは、昔は樹木がうっそうと繁っていて不気味な所でしたよ。一人でくるとはこわかったですな。ここから北の藍名までずっと尾根づたいの道です」

金丸さんが古道の跡を指しながら説明する。もっとも現在はりっぱな舗装道路ができ、広大な鶴越墓苑がひろがり、北方には団地が造成されて真白な地肌をムキだしているから、八百年前の姿そのままというわけにはいかないが、並外れた険路であったことはひと目でわかる。山道三里、人家はまったくなかった。

「六日の日すでに暮れて、山は険しく木は茂り、岩高く道幽なれば、手綱を引えて休み休み進む」といった義経軍の進

撃状況が目にかんてくる。

◇ 「鴨越逆落し」には従来から二つの説があつて正確には指示できないが、鴨越到着までの経由地をざっとたどつてみると――

二月四日、義経は搦手の大将として京都を進発した。

西国街道を進む大手の大将範頼とはべつに、義経の快速部隊は難路つづきの丹波街道をまっしぐらに進撃、「二日路を一日駆け」て、その夜、三草山（現加東郡社町）に布陣する平家軍を一蹴した。緒戦を飾つた義経軍は五日の夜、天神北橋鹿谷の橋鹿寺に宿宮して戦勝祝賀。翌六日、ここから渡瀬、淡河、三津田を経、途中、軍を七三に分け、主力を土肥実平にあずけて西方を迂回させ、自らは旗本を率いて山田から小河を抜け、藍名から高尾山越えの、いわゆる鴨越本道にはいった。

高尾山頂から南へ下ると、巨大なガマの形をした「蛙岩」にぶつかると、いまでは源平ハイキングコースの名所になっているが、この岩の上に立つて見渡すと、平家の陣所は指呼の間に見え、前方の海に船のうかんているの見える。

この蛙岩到着後、義経の行動に二つの説が生じる。一

つは、まっすぐ古明泉寺、夢野へ攻めおりたとする「鴨越本道説」と、西南に分岐した小径を右折して白川、多井畑方面を迂回し、鉄拐山頂から東南斜面を須磨の内裡に向けて逆落ししたという「鴨越間道説」である。

史実としては前者の説を探る者が多いが、後者の間道説も一理あるのでその論拠をみると――

当日、北方に対する平家軍の備えは、最強の武将によつて固められていた。すなわち夢野の水室神社付近に能登守教経、長田の奥長阪を登りつめた古明泉寺に越中前司盛俊がそれぞれ陣を張り、会下山には北方守備隊司令官の越前三位通盛が布陣した。

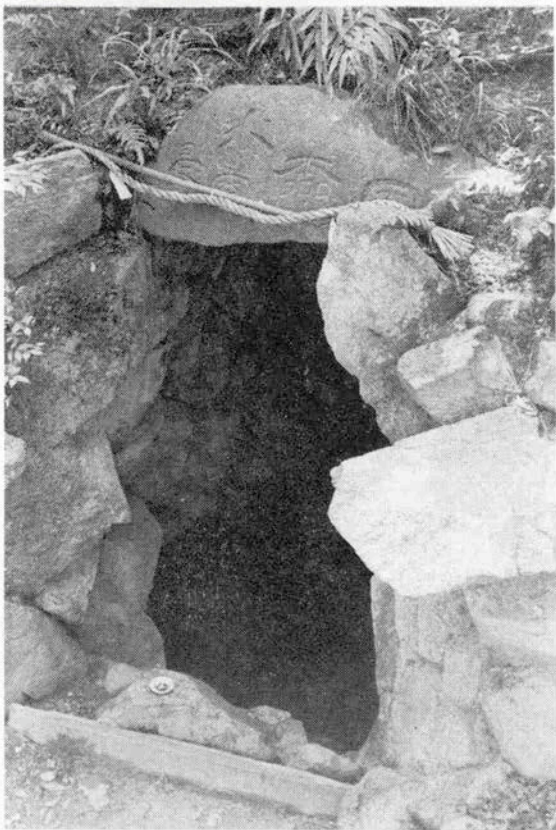
通盛はべつとして、弟の教経は平家一の剛勇といわれ決戦前夜に兄通盛が妻の小宰相局を陣中に招いて別れを惜んでいるのを見て一喝、沖の軍船に局を追い返したという硬骨漢。一方の盛俊は五十人引きの船を、一人で引くほどの豪傑だったという。

蛙岩の地点まで進出した義経は、かねて平家の陣所に放つていた間諜熊井太郎と行き会い、鴨越陣所に平家の精銳が集まっているのを知つた。いくら義経でもわずかな兵でこれを突破することは不可能である。彼は急転

予定を変更して間道を西にとり、敵の備えのうすい鉄拐山から背面攻撃をかけることにした。現にこのコースに義経通過を示す数々の足跡がのこつている、という。

しかし蛙岩の上に立つて西南を俯瞰すると、はたして武装した騎馬隊が敵に気づかれることなくこのコースをたどつて鉄拐山に登り得るかどうか、また鉄拐の急斜面を

夢野の水室神社にある水室





藤越の高尾地蔵尊

とは考えられる。

義経の本隊はわずか七十騎。常法どおり火攻めからはじめた。ちょうど西風がはげしく、火はみるみる燃えひろがった。

東と西の木戸を守る平家軍はこれを見て混乱、逆に源軍はふるいたって東西から攻めこんだ。昔の合戦では火攻めが重要戦術になっている。「焼き働き」といって、放火の専門家みたいな物騒ぎな連中がいて、敵の城砦ばかりか神社仏閣、民家、田畑など無作別に焼き払った。戦争中の米軍の焼夷弾爆撃を想起すればそのおそろしさがわかる。旧福原の陣所はことごとく灰燼に帰した。

激戦はわずか五時間ほどで源氏の大勝利におわったが、勝者のほうの犠牲者も多かった。

「辰ノ中刻（午前九時）戦い酣にして鬨の声、矢叫びの音山谷に響き、赤旗白旗入り乱れ、矢は雨の如く、馬の音は雷に似たり。或は薄手を負い戦うもあり、或は引組み刺し違えて死するもあり。又首を掻くもあり、掻かるるもあり、源氏方の勝利とも見えず……」

といったありさまだった。

午前には勝利を博した源氏は、直ちに海上の平家船団を追撃しようとしたが、平家は付近の船という船を残らず徴発していたため、遂に追うことができなかつた

山手の大将通盛は淡川の堤で木村源三成綱に討たれた。墓は願成寺（松本通二丁目）にあり、向かって右から通盛、その夫人小宰相、願成寺開山住蓮上人、小宰相の乳母呉羽（住蓮の妹）の順にならんでいる。小宰相局

馬で下りられるものかどうか、さらに二月七日早朝の一斉攻撃に時間的に間に合うかどうか——いくつかの疑問が生じる。東・西・北の三方からの同時攻撃は二月七日の日の出の時刻、とあらかじめ決められていた。

それにくらべると、「本道説」にはムリがない。現に通盛、教経、盛俊など主だった武將は、ほとんど夢野から和田岬にいたる線上で討死している。ということは、義経の進路が藍名から和田岬へかけての最短コースを通っているということ、平家軍の中央突破が最初からのねらいだった。

このねらいには大目的の一つある。和田岬沖の軍船に座乗された安徳天皇と三種の神器を奮遷することである。義経の任務はそこにあった。この至上命令を、彼は京都出発に際して法皇から命じられた。

「我朝神代より三種の御宝あり、則ち天津神の国津主に伝へもて、百王鎮護の神宝万民豊饒の靈珍なり、無事都へ還納し奉るへし」

義経がまっすぐ和田岬を目ざして中央突破した理由がそこにある。もっとも一支隊を二ノ谷方面に分派したこ

は前夜陣所において通盛と別れを惜しんでいるところを、弟の教経にたしなめられて泣く泣く船に帰り、通盛討死の数日後、遂に夫の後を追って鳴戸の海に身を投じた。通盛三十歳、小宰相十九歳。平家物語のなかでもとくに安徳帝の入水とともに涙をそそる哀話になっている。弟の教経は敗れて海上へ逃げたが、末弟の藏人大夫業盛は会下山麓で討死した。豪勇怪力の十七歳の少年だった。会下山中腹の善光寺境内に塚がある。

◇ 「雪の御所」跡をたずねる。

清盛が福原に遷都後居住し、安徳天皇の内裡もあった場所で、現在の雪の御所町、湊山小学校のあたり。同校の校庭南隅に碑が建っているが、厳密にいうと学校の前の一段高い三千坪ほどの地が本内裡だったと思われる。

このあたりは天王川と鳥原川が合流して湊川になる三角地で、ここを中心に荒田八幡（荒田町三丁目）の頼盛山荘をはじめ、宗盛、教盛、重衡など、一門の別邸がち

らばっていた。清盛入道はその風光を眺め、松籟や潮騒の音をききながら兵庫築港を企画し、宋貿易の夢をはぐくんだのだろう。

遷都や築港には莫大な経費を要したが、この点については五条大納言邦綱という大福長者が全面的に参画し、築島寺建立の時には奉行をつとめたし、北野の天満宮も祭祀した。

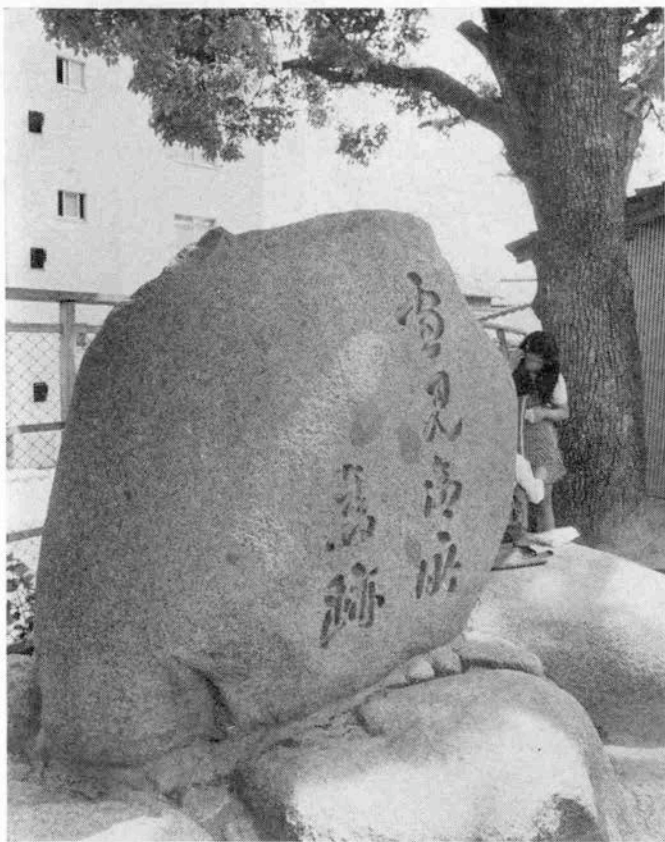
この男のことについて吉川英治氏は、「興味ふかいは、その頃の貨殖家で、平家の御用商人だった五条ノ邦綱のやしき跡も、古図にわかっていることだ。ほくにとつてなぜそんなに興味ふかいかといえ、『新・平家物語』のうちに、この人物を偶然ほくが、朱鼻（あぶらな）の伴ト」として登場させているからである。小説のたね明かしながらしてしまいが、あの朱鼻どのは邦綱をモデルにしたのである」とのべている。

それにしても、清盛がなぜこのようなところに新都をおいたかについては、ほぼつきの理由が考えられる。

(1) 源頼政の挙兵が清盛を大いに警戒させ、叡山及び奈良の僧兵も彼に敵対していたため、もし反勢力が相応援して攻めてきたら京都は一夜で灰燼に帰すとおそれた。

(2) 福原は南部北嶺を去ること遠く、平家の本拠である西国に通ずるには便利である。

(3) 兵庫に築港し、宋との貿易を夢みた。しかし、清盛の独断専



平野の湊川小学校校庭にある雪の御所跡



願成寺の墓地にある通盛、小宰相、住蓮上人、與羽の墓

雪の御所跡から遺物が発見されたのは明治三十五年で、平野から鳥原に通ずる水道管敷設工事のときである。地下一間余のところから、加工した石材が多数出土した。ついで明治三十九年七月に地主の村田氏が発掘調査をしてみると、人工的に布置排列した状態の巨石が累々と現われ、一見して築山の地点であることが判明した。

さらに掘りひろげていくうちに、礎石、大小の土器、瓦片を発見容易ならざる地と判明した。同年八月二十八日、神戸史談会は神戸市に対し、

「……皇居の遺跡と決定仕候上は、永久に保存の途を講じ、後世に至るまで煙滅に掃せざるように計画」をすべき旨の陳情書を提出した。

これに対してどのような手がうたれたか筆者は知らないが、時移り、人変わって、現在は、この一帯もお定まりの住宅密集地となり、往時の面影をしのぶさすがとてない。八百年という距離はやはり遠いと思う。

ことに最近の急速な開発によって、西神戸の山河や丘陵はいちじるしく変貌し、もはや松籟を聴くことも、氷室の清水を飲むことも、鴨越古道に杖ひくことも不可能となった。

山中に巨大な団地が建ちならび、舗装道路を車がひっきりなしに走り、街や海が煤煙におおわれている光景を、義経や、清盛、そして当時の里人たちは、どんな思いで見ていることだろう。

行は人々の反感を買い、結局治承四年六月二日福原に遷幸があつてから、わずか六ヶ月後の同年十一月二十四日、再び平安京に還幸した。平家滅亡のキザシをこの一点に指摘する史家は多い。

寿永二年、平家は義仲に追われて西国へ落ちる途中、福原の諸邸宅にことごとく火を放った。そのくだりを平家物語の描写をかりると――

「平家一門すでに帝都を落ち、福原の旧里につき一夜をぞあかし、所々を見給うに、春は花見の岡、秋は月見浜の御所、泉殿、松蔭殿、馬場殿、二階の棧敷殿、雪見の御所、萱の御所、人々の館とも。邦綱卿の承りて造進せられし里内裡、鴛鴦瓦玉の石だたみ、いずれも三年がほどに荒れはて、旧苔道を塞ぎ、秋の草門を閉じ、簾絶え闇あらはにして、月影のみぞ差入ける。明けぬれば福原の内裡に火をかけて主上を初め参らせて、人々皆御船にめす。寿永二年七月二十五日なり」

まことに栄枯盛衰は常なきものといわざる得ない。

クールタッチ！ 缶入りカスタープリン

8ヶ入 ¥ 500より



北欧の銘菓

ユーハイム・コンフェクト

本社・工場・熊内店 ■神戸市灘合区熊内町1 (市立美術館東隣) TEL 221-1164
三宮センター街本店 ■神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) TEL 331-2421
さんちか店 ■神戸三宮地下スイツタウン TEL 391-3558



株式会社美容室 **エリザベス**

本店 三宮神社山側三上ビル2F TEL 331-8894・4917
芦屋支店 芦屋市阪神芦屋駅前 TEL 0797-22-4067
西宮店 西宮市阪急西宮マンション北館1F TEL 0798-67-1294

お貸衣裳 **花嫁衣裳サロン**

畑尾美久子の店 生田神社前 TEL 331-3258
美容担当 (東京初代 遠藤波津子直流)
専属結婚式場 生田神社・オリエンタルホテル
阪急六甲山ホテル・住吉学園・蘇州園他

■ 淡路島特集〈5〉 ■ 座談会 ■

土地っ子が語る

花とミルクと オレンジの淡路

★出席者〈五十音順〉

● 阿部 武彦

〈民芸六万石代表〉

● 梅原久太郎

〈梅原鉄工所社長〉

● 生子俊一郎

〈淡路青年会議所理事長・生子薬局〉

● 鯛 弘明

〈洲本海月館専務〉

● 武田 洋志

〈淡路青年会議所副理事長・
千年一酒造専務〉



★美しい自然、純粋な人のこころ
梅原 まず、なんととっても人な
つっこいということでしょうね。
遠来の人を大事にする気風です。

ただ、いわゆる阪神経済圏の影
響というか、津名郡などはそこに
属していますので、ややそういう
面が薄れてきているとも言えます
しかし、山間部などへ入るとまだ
まだそんな気風があります。とく
に他からいらっしやった方々が言
われるのは、ゴルフ場でキャディ
さんが非常に親切であるというこ
となんです。この辺にも淡路の良
さが端的にあらわれていると思い
ます。

こまかく見ていきますと、こん
な小さな淡路でも地方によって差
異はありますけれど、共通して言
えることは人の良さですね。それ
だけ後進性があるといえはそうな
んですけれど……。

生子 そうですね。やはり周囲を
海で囲まれていることもあって、
まだそれほど都会の影響はこうむ
っていない、従って純朴さが残っ
ているといえます。そしてその純
朴さが、たんに地域社会の内だけ
けみられるのではなしに、都会か
らみえた方に対してもそうである
ということですね。

それともう一つ、淡路へ観光で
いらっしやる方には少しわかりに

くいと思うのですが、家庭の主婦の勤労意欲が旺盛なことです。御存知のように淡路は酪農も盛んで農業水準も高い、それに観光による収入もあるというわけで、生活にはゆとりがあるのですが、そんな家の奥さんでも勤労意欲が盛んなのです。これは全島についていえます。

ただ心配なのは、これから開けていくにつれて、こういった側面が失われていくことです。といいますのは、いま申しましたような性質というのは近代化に対して、もっともろいものだと思うからです。

阿部 花とミルクとオレンジの島というキャッチフレーズなんですが、これがもう一つびったりとこないような気がしているんです。というのは、観光で県道を走ってもそれほど酪農ということもわからない、もちろん、酪農関係者の方はよく御存知なのですが……。

それにオレンジも静岡などに比べて大規模とはいえませんが……生子 鳴門オレンジをつくっているからというわけではないけれどオレンジについてはもう少し強調したいですね……。(笑)

梅原 それは同意見ですね。私も花とミルクとオレンジの内、花の津名にいますのですけれども、市場をみていますと、これもかなりの



生子 さん

ウエイトを占めていると思うんですよ。

キンセンカ、スイトビー、カーネーション、菊その他各栽培園個有の高級花卉などありますが、最



鯛 さん

盛期には8トン車で七八台が出ていきますのでかなりのものだと思いますね。特にクリスマス頃は多いですね。

生子 オレンジのことなのですが鳴門オレンジというのは、温州み



武田 さん

かん、夏みかんとは異なりましてウエイトを占めていると思うんで淡路独特のものなんです。全島で約二十五万貫とれまして、東京・名古屋・大阪・京都といった大市场へ出荷しているのですが、これも取り合いなんです。つまり温州みかんが十二月に終って、ハッサク、ネーブルなどがでて、イチゴ、スイカまでの間を埋める——これは温室ものを別としてですけれども——その間のオレンジということでプランクを埋める唯一のオレンジだったわけです。

梅原 一応終りましたが、北淡ではピワがありますね。これも市場では大きな人気をよんでいます。

ピワ園に入山された方が、ついつい食べすぎて下痢などということがよくあるようです。

阿部 確かに関係者の方にはよく知れわたっていることはわかるのですが、私のように観光に携わっている者からみた場合、もう一つPR不足と思える部分があるのでですね。

千葉県にはフラワーラインというのがあります。沿道が花で一杯であるといいます。このようにして町の政策としてとり入れて、文字だけでPRするのでなく、花卉栽培で国道28号線をうずめるぐらいにしてほしいですね。もちろん少ない土地を遊ばせるのは惜し

いかも知れませんが……。

酪農も北海道に匹敵するだけの頭数を誇るのですから、なにか見せ場が欲しいですね。

生子 そうですね。それから水に恵まれていることもあって、地酒にもいいのがあんですが、その話しは武田君に……。

武田 灘が近いということもありまして、製法なども灘に似たものとなります。昔は西灘の酒といっていました。

梅原 私達も出来たてを飲みに行くのですが、最高ですね。

武田 全島で、そうですね、二万石は造っていると思います。最近の傾向としては甘口が多いですねこれは全国的な傾向ですね。銘柄としては七・八銘柄ありますが、やはり甘口が多いようです。

鯛 旅館でだす酒としては、お客さんに中部、名古屋方面の方が多いのですが、各々に好みがあります。うなものを配慮しています。

中部方面のお客さんが全体の六割程度、あと京阪神各地といったところですね。春秋の観潮シーズンが最盛期ですね。京阪神の方は夏の日帰りというケースが多いようです。中部地方からでは名神↓阪神高速↓フェリー↓淡路一泊というような周遊コースが多いですね。これが大体この10年のパターンです。

生子 ここで架橋が大きな問題となってくるわけですね。

鯛 素通りという可能性がでてきますね。

阿部 四国四県が一つの観光ルートとなると、二泊三日くらいで、



阿部 さん

一周できますね。その場合に、淡路が宿泊指定地になるかどうかの問題ですね。これは徳島の受け入れ体制如何によるわけですが……それと、有馬が京阪神の奥座敷として利用されていますが、表座



梅原 さん

敷としての淡路がクローズアップされていくような気がします。良質な鉱泉がですすね。鯛 22度ありますので、ギリギリ

で温泉の基準に入るそうです。梅原 洲本フェリーの乗り場にもラジウム泉がありますね。それに最近、岩屋のほうにもあるようですし……。

★高い農業水準・転機に立つ漁業

阿部 観光地としてもすぐれた淡路ですけれど、農業の面でもAクラスであると思うんですよ。

北浜農協というのがございますが、これは規模としてはそう大きくはないんですけども、その運営面では全国的に有名で各地の農協の方が見学にいらっしやいますそれで、かなりの収入もありますので生活にもゆとりが出てくる、従って、おほかで人に親切というような気質もうまれてくるのではないかと思うのですが……。

生子 農業水準が高いということに関連してですが、農機具メーカーが試作品を完成させて、まず持って行くところが淡路で、中でも三原郡の農業地帯なのです。これは各メーカーともテストケースとして使っているようですね。それだけ先進技術をとり入れて、しかもこなしているわけですね。従って生産性も高いといえます。

ただ残念なことは漁業ですね。今のところ観光漁業に精を出しているといった状態で、沿岸漁業のワクを出ていませんね。



北淡のピロをよぶ人気で市場

鯛 釣ブームですからね。釣船をやとって、一泊した翌朝に釣に出かける、そして昼前にもどるといった方が多いですね。それ以外にも土曜日の夕方から国道ぞいに駐車して海岸で、というのも多いですね。

生子 これからだったら、アジです。秋にかけて。今年あたりは紀淡海峡でタイがかなりつれますね。少し知ってる人なら、タイ十匹くらいは釣ってますね。

そんなわけである程度楽にやっていますので、本格的な養殖漁業だとか、沿岸漁業から近海漁業へ移っていくというケースは少ないですね。

梅原 ノリの養殖を団体で協業化してやっているというものもありますが、全般的に漁業が低調であ

ることは事実ですね。

それに工場の進出などで漁場が失われていくということもありまして一つのまがりかどに来ているという状態ですね。

武田 でも、まだ魚の種類も多いし、食べ物もいい、気候も温暖で住みやすいところであるといえますね。

阿部 転勤などでこちらへいらっしやうった方も最初は、島国ということでも多少の抵抗があるようですね。けれども、半年も住めば、逆に慣れてしまっ、本社とか本庁へ戻るのがいやになる、そういう風な人が多いですね。だから少し長期にわたって住まれた方は必ず遊びに戻ってみえますね。やはり住みよさと人のよさでしょうね。

武田 こちらの女性と結婚する人

も多いですからね。

生子 都会の娘さんのように遊びに行つてゴロゴロ踊るようなのが少ないわけですよ。いわゆる昔の純朴な娘さんが多いから……。これはもう稀少価値ですよ。(笑)

梅原 それで、人口が22万位であった時代から今では17万位と、多くの人が阪神地方へ出て行つてゐるんですけども、その方々は、自分の子息の嫁というのは必ず淡路からもらいますね。ということも純朴さもさることながら労働意欲その他、いわゆる都会で生まれて都会で育つた女性が持たない、何かがあるんだと思うんですが……単なる排他的な身内意識とかいうのではなくて、我々その中になればよくわからないのですが、島外へ出て客観的にみれば、淡路の人の人情にひかれるのですね。

生子 花とミルクとオレンジの前に「娘さん」をつけなければ……。(笑)

お茶とか花を習っている密度は都会よりも高いでしょうね。

阿部 女性は学校をでて、割合島へとどまる人が多いようです。生子 これはどこについてもいえるのですけれども、過疎地から出ていく若年労働層というものは、

出ていってもある年限、まあ大体三年くらいですけれど、そのくら



自然を残した環境開発を

経つと、いやになって帰ってくる時期になるわけです。それでまあ中学校を出て、都会へいった娘さんが三年たてば年頃、というわけで、こちらへ戻って来てこの昔と結婚するか、あるいは職場で知り合った人と結婚するというケースができてくるわけです。それに今、梅原君がいったように、淡路出身の人がその息子に淡路の女性をとというケースは確かに多いですよ。

梅原 だから、淡路の男性は、京阪神から戻って来た人を、その時につかまえないと……ということも考えられますね。(笑)

今の娘さんはどうかわかりませんが、昔であれば、結婚するまでに他人の飯を、ということ、外へ奉公に出して、結婚するとなれ

ば身近でという一つのパターンがありましたので、それを自分の娘にも、という親もあるのではないのでしょうか。

★デコ芝居と農村の祭祀を

——花とミルクとオレンジだけでなく、そこに住む人、しかも娘さんがいいという淡路ですが、それではその素晴らしい淡路のレジャーガイドといえますか、みどころを教えてくださいのですが……。

阿部 まずみていただきたいのは淡路人形だと思えます。鳴門のうず潮は、これは有名です。言うこともございませんが、淡路人形の場合は、衰退の一端をたどるので、昔のレパトリーをやるる役者が四人位しか居ませんし、また四人では出来ないわけです。

全国各地で、色々な民族芸能が危機に瀕しているわけですが、特にこの淡路人形、正確には淡路人形浄瑠璃、土地のものは「デコ芝居」というんですが……、リズムも、そのあらわそうとする内容も古いだけにむずかしく、保存はほとんど絶望的だと思えます。

一般には文楽が知られていますね。これは江戸中期に上村文楽軒という人が大阪で始めたのが、起りなんです。淡路人形の場合は今から四百年ばかり以前で、能と一緒に入ってきているものなので、能をうけ入れたのは武士階級ですが、もともとの起源はチベット。チベットから中国大陸、朝鮮半島を経て、九州へ上陸しているわけです。そのときに能は武士階級にとり入れられましたが、淡路人形の場合は、最初、指人形のような形で小さい箱の中で演じたわけですね。それを神社などの祭祀のときに行なった。それが、三味線・浄瑠璃・人形使いの三技を合体して出来たのが今日の淡路人形です。

これだけのポーズをつくり得る人形劇は世界にないと思うんですね。共産圏諸国でも人形劇は盛んですが、その専門家にも絶賛を得ていますね。

いまは、福島の鳴門観潮船乗り場の建物で上演しています。ここ

で25/30分にまとめた、さわりていどのものを上演しています。

それから眺望のいいところでは大見山の戦没学徒慰霊塔ですね。鳴門海峡が箱庭のようにみえます。まだ道路が少し整備されていますが、来年になれば美しくされると思います。

まあ、御存知のように日本最初の島として、逸話、神話は多いのですが、道路事情が悪いので簡単に乗り入れできないのが残念です。生子 あとは大体、有名なコースですけれども、田園地帯のおまつりにはかわったものがたくさんあります。

梅原 まず第一に、「ねりこまつり」ですね。二月に由良でやりますがとにかくダイナミックな奇祭ですね。

生子 それとかNHKでも紹介された「船だんじり」など、一風変わった祭りが多いですが、案外知らない方が多いので……。

梅原 「まわり弁天」も全島的な行事ですね。寺院をめぐるっていいんですよ。これは十二月ですか。

阿部 徳島の方が割合と熱心で、バスツアーなどが企画されますね。これと前後して洲本の弁天さんもありですが、最近は交通事情の悪化でだんだんやりにくくなってきました。

生子 とにかく大都市近郊の田園

地帯では失われたものがたくさん残っていますよ。福良のイザナギ神社大祭（四月二十日前後）のだんじりとか……。これも独特ですね。緋色の布団で屋根を葺いた、だんじりが何十台と出て来ます。あの上ののっている太鼓は淡路独特のものといえますね。古い車など百年、二百年というのがあるかもしれません。



洲本市人形の喫茶・六万石での座談会

★豊かな社会への挑戦

——それでは、これからの淡路への期待をおきかせ願いたいのですが……。

梅原 開発は避け得ないと思いますが、自然環境の保存ですね。なんらかの規制を考えていくべきだと思います。

阿部 自然を残した箱庭的存在、特に農業面で自然を残したいと思えますね。

鯛 同じですが、自然を残す、そして開発するとしても観光開発にとどめるといふことでしようね。武田 やはり環境の保全でしようね。それと架橋後の性格づけが重要だと思います。

生子 単にあるものを残すだけではなしに、観光的、産業的にも開発されるなかに、守るべきものは守り、そのかたわら、豊かな社会になるような方向へということでも暗中模索している状態です。

今まで出た話しがもうすでに、大都市では失われたものばかりですし、そして、それが今ここにあって話題にのぼるといふことだけでも素晴らしいことですから、これを守りつつ豊かに……ということですね。

——淡路がいつまでも花とミルクとオレンジを供給しつづけてくれることを期待します。

本日はどうもありがとうございました。

〈洲本市人形喫茶・六万石にて〉

Goncharoff

涼感を呼ぶクールなタッチの
クールなキャンディ

FRESH &
COOL

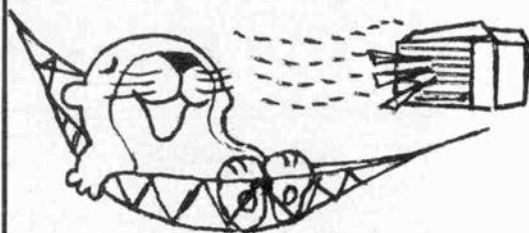


cool six

¥1,500 ¥1,000 ¥700 ¥500

ゴンチャロフ/クールシックス

本 社・神戸市生田区加納町4丁目1番地 TEL(391)2636
さんちか店・神戸三宮地下街(スィーツタウン) TEL(391)3563
ティバレスゴンチャロフ・神戸商工貿易センタービル内 TEL(251)0237



三菱重工 ビーバーエアコン



ナシ
コナル
〈冷凍〉
冷蔵庫

元町家電(株)

神戸市生田区元町通6丁目25
TEL (078) 351-0081

おんがら屋



きものと細貨

おんがら屋

神 戸

西 店/三宮センター街・電話 331-8836(代)

東 店/三宮センター街・電話 331-0629

三宮店/さんちかタウン・電話 391-4303

東 京

銀座コア店/4階着物コア・電話573-5298(代)

渋谷東急店/5階和装名家街・電話462-3409(直)

日本橋東急店/4階和装名家街・電話211-0511(代)
(内線294)

池袋バルコ店/4階着物小路・電話987-0561(直)

こんにちは赤ちゃん



枚方市出口/有馬邦明クン

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

荻屋 柿沼産婦人科



荻屋市大栞町1番18号
国道荻屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 荻屋 (0797) 31-1234 代表

★神戸の若い邦舞家による

『四人の会』初のジョイントリサイタル

8月27日〈日〉海員会館で



藤間 祿寿郎さん



若柳 吉里さん



花柳 芳五郎さん



林 啓二さん

日本の古典芸能にたづさわる数少ない神戸の若い邦舞家の人達が、この夏、手をつないで勉強と発表をかねた、初のジョイントリサイタル「四人の会」を開く。

四人のメンバーは、藤間祿寿師のもとで修業し、進境いちぢるしい藤間祿寿郎さん（25才三木市在住）と、若柳吉金吾二世で祿寿郎さんの婚約者でもある若柳吉里さん（23才長田区在住）。それに、花柳楽暉師の二世である花柳芳五郎さん（24才生田区在住）と、弟の林啓二さん（22才）。啓二さんは、林与一さんの弟分になり、林流の若手舞踊家として、東京で修業しながら朝丘雪路、美空ひばりなどと共に商業演劇の舞台にも活躍中という期待される新人。

「四人の会」は、八月二十七日（日）に、海員会館で開かれ、入場料は五〇〇円。プログラムは、

- 一、宮城道雄曲「水の変態」（四人の合同振付による）
- 一、清元梅吉曲「ひょうたん」（新作藤間祿寿郎振付）
- 一、杵屋勝三郎曲「ねずみ」（新作林啓二振付）

一、清元「子守」若柳吉里

一、長唄「巽八景」花柳芳五郎

一、長唄「風流船摘」花柳楽暉・若柳吉金吾（ゲスト出演）

一、清元「三社祭」林啓二・藤間祿寿郎

「四人の会」のきっかけは、若柳吉金吾師の舞踊会「金鈴会」で、藤間祿寿郎、林啓二の二人が「二人三番探」を市川猿之助の振りで共演したことから、古典の勉強と新しい振りの研究をやりたいと話しあって、なんとか行動に移そうと、楽暉、吉金吾師に相談し、「四人が裸になって踊って、古典と、振付けのすべてを学んだらいい」と助言されこの会がスタートしたとのこと。第二回は来春一月二十八日（日）に、能楽堂で能形式によるものを行いたいと意欲的だ。神戸新聞文化事業局長の佐野運箕さんは「若い人は数多くの舞台をふんで古典の勉強をしっかり身につけ、それを基礎に、若い人の感覚を盛り込んで古典に新しい生命をよみがえらせるという二つの方向を持って頑張ってほしい」と語っている。

淀長立見席 8



まんがのげい

淀川 長治

〈映画評論家〉

夏になると、涼しい映画館で、でかいスクリーンで漫画が見たくなる。

もうすぐ、それで、二つの漫画がやってくる。けれども興行者はこの二つを出し惜しみして、初秋を狙っている。にくい。

その一つは御存知「ファンタジア」。昭和十五年（一九四〇）のディズニーの長篇一時間五十六分。

日本では戦後の昭和三十年の封切。ごらんのお人も多かろう。けれどこの日本封切のとき生れた赤ちゃん今は十七歳。その十七歳が初めてこれを見てもその漫画の芸にビックリまぢがいなし。ディズニーの漫画はその歴史の上でこれが今も一番といえるくらい。ごらんずみのお人は想い出されるであります。まづはバレエの夕べ。あるいはオペラの夕べ。その感じ。

バッハ、チャイコフスキー、デユカ、ストラヴィンスキー、ベートーヴェン、ボンキェルリ、ムソルグスキー、シューベルトの順でその名曲が漫画となって生れる仕組み。

チャイコフスキーの「くるみ割り人形」の中の「アラビアの踊り」これを金魚が踊る。「中国の踊り」はキノコが踊る。その芸の巧み。

けれどもボンキェルリの「時の踊り」のこのバレエ曲を、ディズニーはカバとワニとダチョーと巨象で踊らせた。生涯バレリーナになり得ないダチョーやカバで踊らせたその漫画芸。

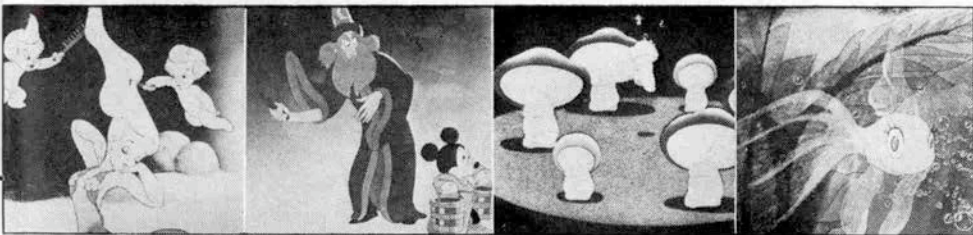
これはアメリカでも今年リバイバルされ、その全曲のうちムソルグスキーの「朧山の一夜」が一番受けたとき。夜半に死者が墓場からいっばい出てきて数百の亡霊が怪奇な表情で空を舞う。

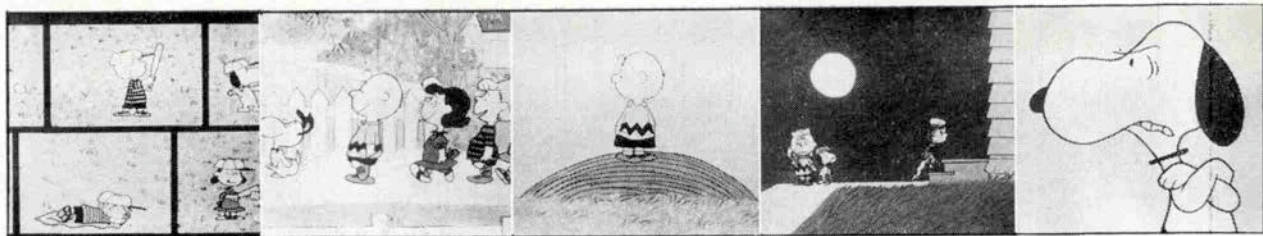
ところで実は私、昨日アメリカから帰ってきたばかり。その十日間、ニューヨークとロサンゼルス映画館をのきなみ飛びこんだが、大人がいっぱい映画館につめかけているのには驚いた。思えばあたりまえ。ところが日本の映画館内の青少年いっばいに馴れちゃった私はそんな大人の映画館に正直ビックリ。

それで「ファンタジア」もムソルグスキーのパートが受けているわけである。

さてこれともう一本、東和に「スノービーとチャーリー」一時間二十六分が入荷した。

●ディズニーの長篇漫画「ファンタジア」





●声優の見事な「スヌービーとチャーリー」

これも御承知、すでに今年初めから「週刊朝日」連載のあのチャールス・シユルツ作のヒット漫画。

チャーリー・ブラウンは勝ったことのない子供野球チームの監督。赤毛の女の子をひそかに愛しているが口もきけない。タコをあけると必ずひっかけ、痛む胃をかかえて、優柔不断のカタマリ。

スヌービーは小犬。犬のくせにウサギを追わない。昼寝が好きで、ネコを死ぬほどこわがり、自分が犬であることに絶望。ただし野球チームでは名シュート。

これらの主役は言うまでもなく、われら。そのモノ。これに全国いじわる連盟総裁のルーシー。彼女は精神分析のアルバイトも始めている。

サリーはチャーリー・ブラウンの妹。兄との間に断絶を感じている。学校ざらい。数学の宿題が出ると殺ろされるような騒ぎ。男の子を見ると映画を見に行かないとかたっぱしからウインクする。

シユローダーはオモチャのピアノで見事に名曲を奏し、とくにベートーベンを尊敬。

つまりこんな連中が集つてのドタバタ騒ぎだが、この一

九七〇年作のアメリカ漫画には、ニューヨークのオフイスのタイプライターを叩く音が聞えるくらい今日のリビング（生きている）感があふれ、もはやこれは子供の漫画とは申せまい。

ところで、紙上の連載漫画とちがって、これには「声」がはいる。チャーリー・ブラウンのモグモグ声。スヌービーのケロケロ声。その声優の見事さ。それで東和ではこれを日本語版にしきれなくて困っている。いっそのこのオリジナルのままスヌービー文字つきで公開したい様子。チャーリーの声、その台詞廻しが巧い。

野球に絶望したチャーリーが、アタマで運をためさんと、これも女の子にそそのかされて、スベル・パズル（単語のスベル競争）に参加。

さあその決心の夜から必死の勉強。便所に行けばベンジの綴り。水道栓をひねるやスイドウセンの綴り。朝食のバターもミルクもタマゴもフレンチ・トーストも喰べながらその綴りを口にする。

スベル・パズル大会に優勝すれば賞金が出る。女の子はチャーリーに、この出場参加をすすめたことでその賞金の何割かを受けとる約束。

そこでチャーリーがそのスベル勉強のかたわらで、手取りいくらになるかとその何割計算に夢中。女の子はすべてチャッカリ。

この人間世界にあいそつとした犬のスタービーは犬小屋の屋根の上に寝をべつて空想にふける。

「ファンタジア」も「スヌービーとチャーリー」も大人の漫画。大人がどしどし映画館に行くからこそ、大人の漫画が生れるわけ。

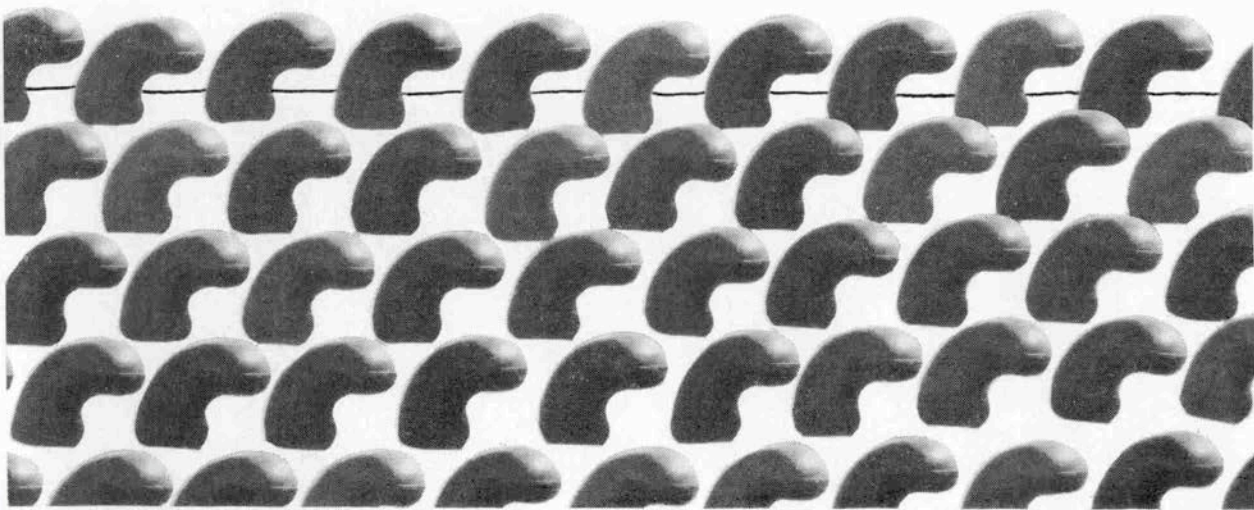
このほか日本輸入はまだ聞かぬが「猫のフリッツ」というこれまた大変な大人の漫画があらで好評上映中。婚前セックスまでとびだす漫画。大人が映画館にどしどし来ればこの「猫のフリッツ」もはいるんだがなあ。

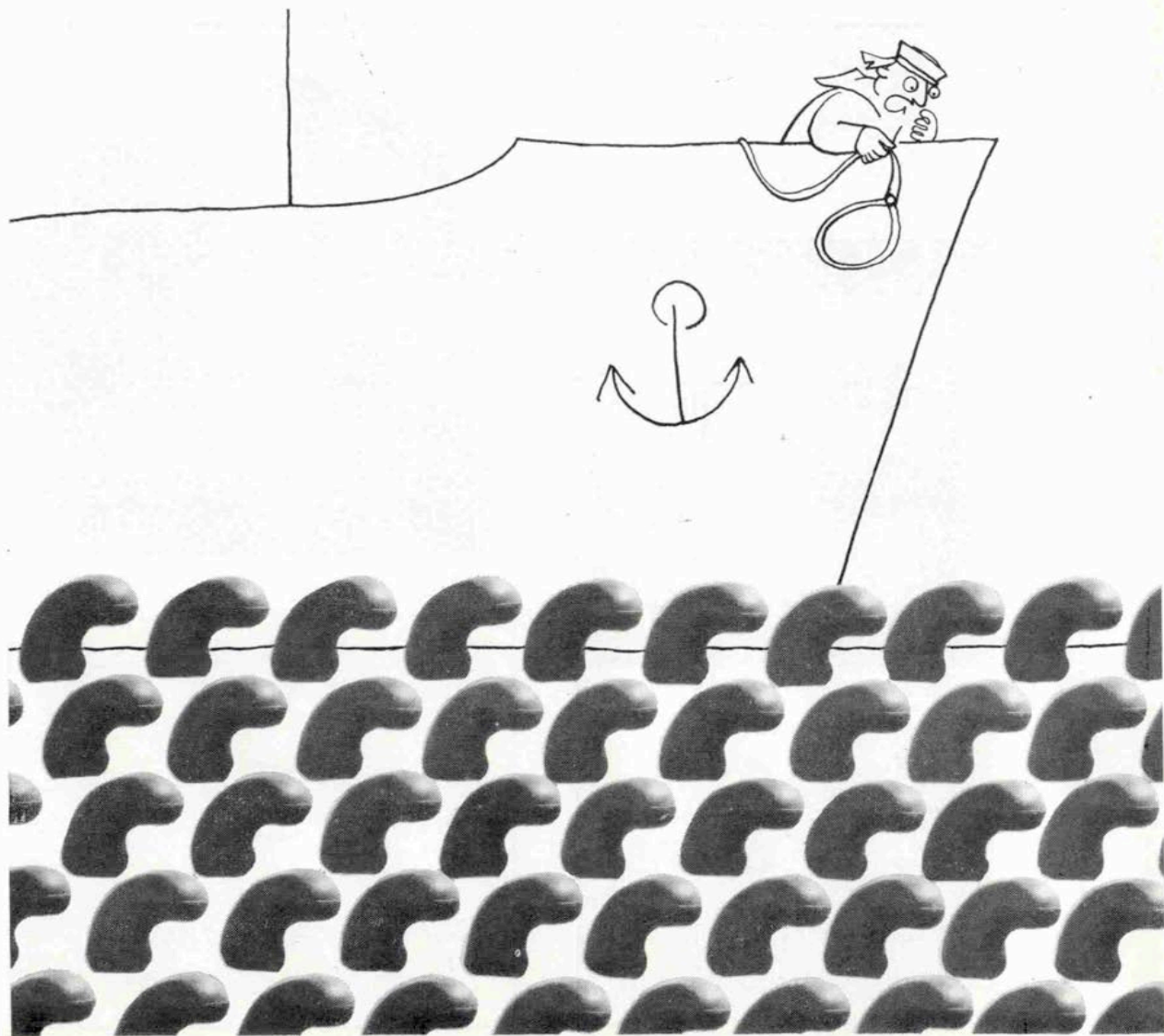
コラージュコミックス

8

中突堤のビット

岡田 淳





ゆったりと

くつろげる

第3の空間



善香

農業会館前コーベビル地下

PHONE 331-6763



むろ



生田東門筋ゼウスタウン2F

PHONE 391-2280